

請願第 9号

令和元年10月11日

川崎市議会議長 山崎直史様

東京都新宿区在住者

ほか 378名

川崎球場遺構保存に関する請願

請願の要旨

富士通スタジアム川崎に現存する、本市が誇る歴史的遺産といえる川崎球場時代を象徴する「外野フェンス」及び「照明塔」を本市の「指定文化財」として登録すること。

請願の理由

現在、川崎フロンターレが指定管理者を務める「富士通スタジアム川崎」はかつて「川崎球場」として、1952年（昭和27年）から1992年（平成4年）までプロ野球チームの本拠地として約2,500もの試合が実施され、王選手の700号ホームラン、張本選手の3,000本安打等、多くの名場面の舞台となりました。1988年（昭和63年）10月19日に行われた「ロッテオリオンズVS近鉄バファローズ」は「10.19」として、今もなお伝説として語り継がれ、30年近い日々が流れた今もプロ野球ファンだけでなく、当時を知る多くの人々の心に強く刻まれています。しかし、日本スポーツ史上における重要な歴史を持っている一方で、ここが野球場だったということを知らない人が増えているのも事実です。現在は指定管理者である川崎フロンターレの努力により「アメフト」、「サッカー」、「ラグロス」、「アルティメット」、そして数々の「障害者スポーツ」等、多くの競技団体、競技者が集い、にぎわい、新たな歴史を積み重ねています。そして、この新しい世代に本市の誇るべき歴史を伝え、語り継ぎ、ここが「世代と世代をつなぐ

場所」として永く愛されてほしいという趣旨で、指定管理者である川崎フロンターレが中心となり、継続的にイベントを実施してきました。

- ・2016年（平成28年）3月5日（土）「川崎球場10.19～あれから10,000日～」（来場者約1,500人）
- ・2017年（平成29年）1月28日（土）「10.19を中心に川崎球場の歴史を振り返る」（来場者約2,000人）
- ・2016年（平成28年）10月19日「スタジアムツアー」
- ・2017年（平成29年）10月19日「スタジアムツアー」
- ・2018年（平成30年）10月19日「スタジアムツアー」

「富士通スタジアム川崎」には、現在も「川崎球場」時代の「外野フェンス」及び「照明塔」が残されており、この場所で紡がれた歴史の「象徴」として、イベントの有無を問わず、見学者、巡礼者が後を絶ちません。

今後もこの場所が、この「象徴」に見守られながら、新たな歴史を積み重ね、異なる世代、様々な人々がつながる場所として育っていくことを願っています。つきましては、本市が誇る歴史的遺産といえるこの場所を象徴する「外野フェンス」及び「照明塔」を、本市の「指定文化財」として登録してください。

紹介議員

橋	本	勝
山	田	晴彦
宗	田	裕之
堀	添	健
松	川	正二郎
三	宅	隆介